



VisuaLine V1 Standard Editionは、イベントデータを図形で重畳し、レポート表示することで、生産状況を可視化し、改善ポイントの発見や工程間の状況を把握するためのツールです。縦軸に時間、横軸に工程とし、製造実績の時系列データを1製品毎に各工程の開始・終了時刻を折れ線で表示します。

## 製造現場には数多くの課題があります

### ■ 製造現場で、このような課題を抱えていませんか？

- ・ 現場の実態が、経営層と現場とで共有できない
- ・ 製造現場の実態は、現場に行かないと把握できない
- ・ 生産ラインのボトルネックや非効率箇所が特定できない
- ・ 数字を羅列した実績表では、製造実績の把握に時間が掛かる
- ・ 熟練の技術者でないと、生産全体の無駄が発見できない
- ・ IoTを活用した製造現場の効率化をすすめたいが、どこから手を付けてよいか分からない



### ■ 製造現場の課題をVisuaLineが解決する3つのポイント

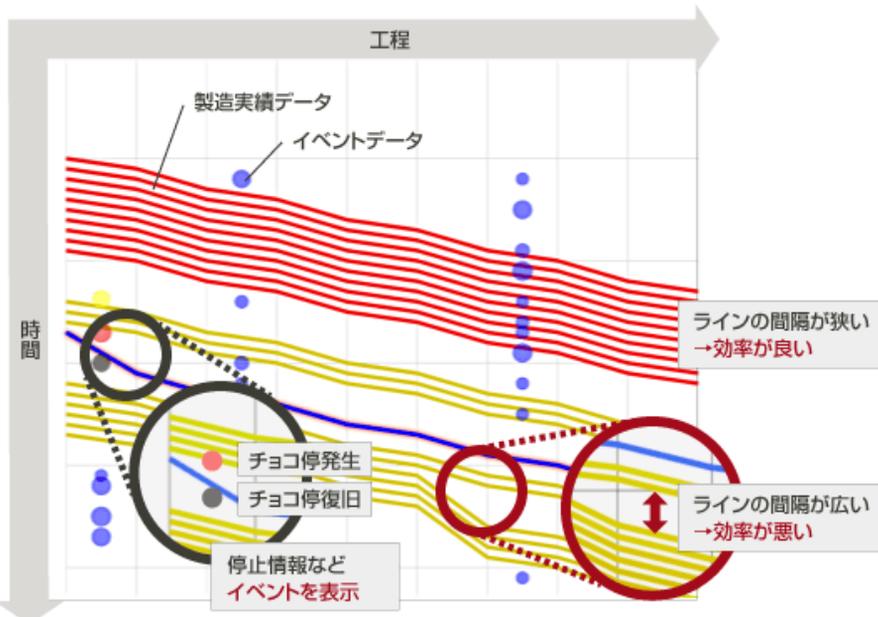
1. 特許出願済のUX（※1）デザインで異次元の見える化を実現
2. 熟練の技術者が見つけていた生産全体の無駄を、誰でも発見できる
3. 手軽に導入できるIoTにより、現場の意識と行動を改革

（※1）UXとは、（User experience）ユーザがシステム使用時に得られる体験のこと。  
ユーザの使い勝手を重視し、真にやりたいことを心地よく実現できるかを重視した概念。

## 1. 特許出願済のUXデザインで異次元の見える化を実現

### ■ 生産状況のバイタルともいえる“生産状況の波形”で表現

製造設備より収集した製造実績データを、時系列でグラフ表示（生産状況の波形で表示）することで、ラインの生産状況を一目で把握することが可能となります。



・ **製造実績を工程×時系列でグラフ化**  
縦軸時間、横軸を工程とし、製造実績の時系列データを折れ線で表示することにより、ラインの生産状況を一目で確認できます。

・ **設備イベントも同時にマッピング**  
製造時に発生したイベント情報もグラフ上にマッピングすることができるため、製造実績とイベント情報を同時に可視化できます。

## 2. 熟練の技術者が見つけていた生産全体の無駄を、誰でも発見できる

### ■ 線の形状からひと目で異常が発見できる

“生産状況の波形”から、生産状況の異常や生産ラインの負荷を、誰でも容易に発見することができ、新たな改善ポイントや改善施策の立案に役立ちます。

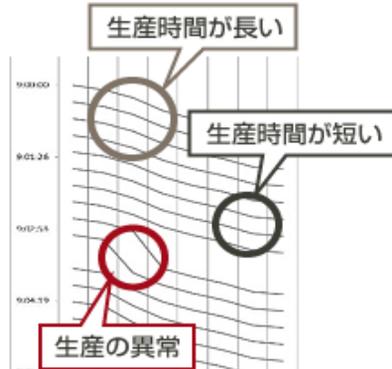
文字情報



VisuLineなら、  
数値の羅列が  
瞬時に  
可視化できる！

数字を羅列した表では  
異常箇所の発見が困難

生産ラインの波形



線の角度で生産状況を把握

線形が平行で間隔が狭いほど生産効率がよく、線形に乱れが出るところが生産の異常箇所であると読み取れます。また、線の角度が垂直に近いと生産に時間がかかっており、線の角度が水平に近いと生産時間が短いことが分かります。

生産状況の異常や、生産ラインの負荷を、容易に発見することができ、新たな改善ポイントや改善施策の立案に役立ちます。

## 3. 手軽に導入できるIoTにより、現場の意識と行動を改革

### ■ すぐに使える、すぐに効果がでる

既存の製造実績データを活用することで、製造現場におけるIoTを手軽に実現いたします。

VisuLineから得られる多くの気づきは、製造現場の行動意欲を向上させ、従来の改善活動を改革します。

VisuLineは、既存の製造実績データを活用して、生産状況の波形として表現します。製造現場におけるIoTを、“次世代の取組み”ではなく、“現場にとって身近なもの”として、手軽に実現できます。

現場では、生産ラインの現状を一目で把握できることにより、異常の発見や気づきが多く生まれ改善アクションへとつながります。また改善の効果も一目瞭然のため、現場の改善活動へのモチベーションが向上します。

## ソリューション適用事例

### ■ 以下の製品紹介サイトをご参照ください。

現場改革支援ソリューション

FUJITSU Manufacturing Industry Solution VisuLine(ビジュアライン)

<http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/manufacturing/monozukuri-total-support/services/kakushintai/visualine/index.html>

## 適用OS・標準価格

### ■ 適用OS

Windows7、Windows8、Windows10 それぞれ32bit版/64bit版

### ■ 標準価格(月額レンタル) 月額M E & Sは必須(本商品価格に含む)

品名	価格 (税別、2017年3月31日まで)
VisuLine V1 Standard Edition ベースモジュール(1ライン付)	54,000円
VisuLine V1 Standard Edition 製造情報オプション(1ライン付)	49,000円
VisuLine V1 Standard Edition 動画オプション(1ライン付)	49,000円
VisuLine V1 Standard Edition 工程経路オプション(1ライン付)	49,000円
VisuLine V1 Standard Edition 計画オプション(1ライン付)	16,000円
VisuLine V1 Standard Edition Standard Oneパッケージ(1ライン付) (ベースモジュールと製造情報/動画/工程経路/計画の4オプションをまとめた商品)	184,000円



企業や組織団体における人材育成を研修管理やeラーニング実施の側面から強力にサポートする学習管理システム(LMS : Learning Management System)のサービスを提供します。eラーニング配信基盤の機能に加え、研修申込・承認・受付といった、研修のワークフローの仕組みも備えたシステムです。

【ここがポイント】

- ・eラーニング配信基盤
- ・研修申込・承認・受付といった、研修のワークフローの仕組み
- ・日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）に対応
- ・スマートフォンに最適化されたインターフェースで学習可能
- ・eラーニングコンテンツの変換や動画にも対応するオプション
- ・研修申込の募集や全社一斉eラーニング受講、日程管理などにも対応

このような悩みはありませんか？あなたの悩みを解決します。

**悩み** ググって学んだーその学びも認めてあげたい

KnowledgeC@feなら“TinCan” \*1に対応。  
WEBサイトやプレゼン資料の閲覧など、  
あらゆる行動を学習履歴として蓄積できます。

**悩み** いち早く製品情報を社内に周知したい

KnowledgeC@feなら“TinCan” \*1に対応。  
WEBサイトやプレゼン資料の閲覧など、  
あらゆる行動を学習履歴として蓄積できます。

**悩み** 職場の状況や個人の思いを共有したい

投稿型アンケートでみんなの意見を見える化しませんか。職場の状況を振り返り**新たな気づき**につなげます。

**悩み** 集合研修は実践的な内容で満足度をあげたい

座学の部分は事前にeラーニングで学習してもらって反転学習の出番です。  
人が集まる場は実践的な場になります。

\*1 : TinCan（正式名称 : Experience API）とは、多種多様な学習活動の履歴（行動ログ）を記録・検索・抽出するための仕様です。

ステークホルダ毎のKnowledgeC@feで得られるメリット

[学習者]

**学習**

学習進捗具合をビジュアルに把握することで学習意欲の維持を図れます。

**学習申し込み**

学習者が自らのニーズや興味に応じて検索を行い自己学習的に申し込みます。

**教材を通じたコミュニケーション**

他者とともに学ぶ「ソーシャルな学び」で学習を深化できます。

[所属長]

**部下の学習状況をチェック**

部下の学習進捗を確認し、個別にフォローできます。

**部下の学習申し込みを承認**

お客様の組織構成に応じた承認フローを組み込みます。

[研修運営者]

**学習状況の管理**

コース、ユーザ、所属グループなどの切り口で学習履歴を管理できます。

**データ一括登録／ダウンロード**

ユーザ、学習履歴などのデータを一括で登録/ダウンロードできます。

**学習者へお知らせ周知**

全ユーザ、特定グループ、特定コースの受講者へのお知らせが掲載できます。

**様々な研修を管理**

集合研修やセミナー、勉強会など様々な研修を登録、申込みや学習履歴を一元管理できます。

[教材作成者]

**教材を作成**

簡単、手軽な操作で教材、テスト、アンケートなどをお客様自身の手で作成できます。

**研修結果の確認／添削**

テスト、アンケート結果のビジュアルな集計、課題の添削や返却ができます。

**フォローアップメールの自動送信**

利用者の行動、進捗条件などに応じて自動的にメールによる通知を行います。

## ■ 研修管理業務をシステム化 多様な研修形態をサポート

- 研修申込の募集や全社一斉eラーニングの日程管理などにも対応。
- 社員による研修の申込、上長による申込承認、教育管理者による申込受付が可能。
- パスワード再発行・ユーザID照会機能を搭載。
- 細かい条件指定が可能なメールの自動配信機能、メール送信履歴確認機能を実装。
- eラーニングだけでなく、集合研修や外部セミナー、ブレンド型研修など、多様な研修形態をサポート。

## ■ モバイル端末対応

- Android端末、iPhone、iPadに対応。

## ■ 多言語対応

- 日本語・英語・中国語（繁体字・簡体字）の表示切り替えが利用者ごとに可能。  
※学習コンテンツは、対応する言語ごとにご用意いただく必要があります。

## ■ 互いに教えあい学びあうコミュニケーション機能

- ソーシャルラーニング機能で、学習中の気づきなどを登録し、他の受講者と共有。
- 講師の方は、受講者へのフォローや、教材改善点の発見に応用可能。
- 「なるほど」「いいね」ボタンで、役に立った、共感できる教材や投稿コメントを他者にリコメンド。
- コミュニケーションボードでディスカッションを活性化。管理者は投稿数やコメント数を確認可能。

## ■ 教材作成の内製化を支援

- 画面上で教材の目次やテスト、アンケートの作成が可能。
- 教材で使用するファイル（SCORM1.2準拠教材含む）のアップロードもブラウザ上で可能。

## ■ eラーニング実施報告書も、受講履歴CSVから作成

- eラーニングの受講結果・成績情報は、CSVによる一括ダウンロードが可能。

## ■ 教材作成の内製化を支援

- 使い慣れたPowerPointで作成した資料を、eラーニング教材に変換が可能（KnowledgeC@feコンテンツ変換オプション）。
- KnowledgeC@feにログインして、PowerPointファイルをブラウザ上でアップロードするだけで、Flashファイルへ変換、eラーニング教材の目次も自動生成。

## 動作環境

PC	対応OS	Windows Vista SP2, Windows 7/8.2/10
	対応ブラウザ	IE9/11, Microsoft Edge, Firefox ESR45, Google Chrome
モバイル	対応OS	Android5.0, iOS9 (iPhone, iPad)
	対応ブラウザ	Google Chrome, Mobile Safari

※ モバイル端末は受講者機能とグループ管理者機能のみに対応しています。

※ その他の制限事項、OS、ブラウザの詳細な組み合わせはWebサイト

(<http://www.knowledgewing.com/kcc/cafe/index.html>)をご覧ください。

## 主な型名/価格

商品名	型名	支払い方法	価格（税別）
KnowledgeC@fe 初期設定サービス	SVS015400	一括払い(定額)	160,000円
KnowledgeC@fe 導入支援サービス	SVS015401	一括払い(個別見積り)	個別見積り
KnowledgeC@fe 基本サービス (100ID以上999ID以下) (年額)	SVS015410	年額払い(定額)	3,600円
KnowledgeC@fe コンテンツ変換オプション(1ID)	SVS015430	月額払い(定額)	12,000円

※その他の基本サービス、オプションサービスの型名/価格等につきましては、お問合せください。

# データセンター／クラウド事業者様向け サイト運用サービス

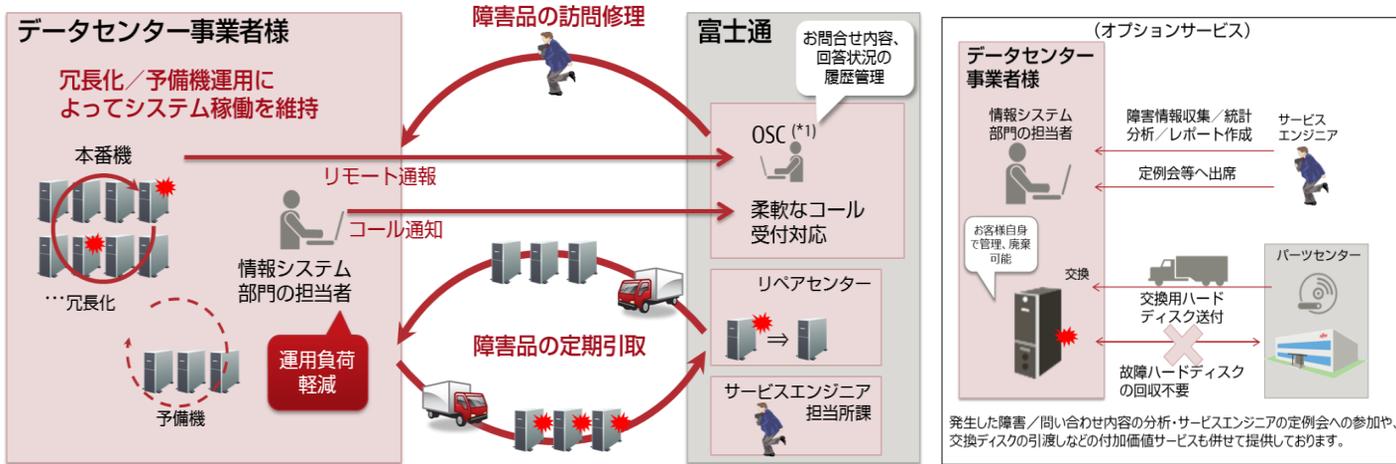
データセンター／クラウド事業者様のサーバロット導入や1拠点へのサーバ集約の際に、1週間または2週間に1度の定期的な訪問修理または引取修理を提供し、“まとめ修理”による安価な保守メニューを新規にご提供します。

## 【ポイント】

従来はサーバ台数に応じてSupportDesk価格を積み上げて保守料を算出していたことから、台数が多いと高価だったのに対し、安価に実現します。

## 概要

データセンター／クラウド事業者様向けサイト運用サービスでは、データセンター／クラウド事業者に対して、1サイト毎に定期的なまとめ修理を実施します。  
本サービスでは、修理方法（訪問修理または引取修理）、および修理サイクル（1週間または2週間に1度）を予め設定することにより運用コストを削減し、従来より安価に保守サービスを提供します。  
このように運用を効率化することにより、安価な価格を実現します。



(\*1) OSC : One-stop Solution Center (SupportDeskご契約のお客様専用の総合サポートセンター)

## サービスレベル

サービス商品	サービス内容	サービスレベル			
		Support Desk-Web	お客様先での修理対応	担当サービスエンジニア	リモート通報
SupportDeskパック Standard/ Standard (月額)	当日訪問修理 24時間	○	○	○	○
	当日訪問修理 平日	○	○	○	○
保証延長パック	翌営業日訪問修理 平日	○	○	×	×
<今回新規提供> サイト運用サービス	定期訪問修理 平日 (週1回 or 2週1回)	○	○	×	×
	定期引取修理 平日 (2週1回)	○	×	×	×

担当サービスエンジニア：早期復旧のため、システム構成を事前に把握しているサービスエンジニアが対応します

リモート通報：サーバにてトラブルを検出した際、サーバが自動でサポートセンターへ通知を行うことにより、早期復旧に貢献します

# 価格イメージ

【SupportDesk Standardサービスレベル】

OSサポート
定期点検
お客様専用WEBによる情報提供
リモート通報
当日訪問修理 (当日2時間以内到着目標)
平日8:30~19:00/ 24時間365日
対応窓口：OSC/担当CE制

サービスレベルを  
引き下げ

【サイト運用サービスのサービスレベル】

お客様専用WEBによる情報提供
定期訪問修理/定期引取修理
平日8:30~19:00
対応窓口：OSC

【SupportDesk Standard価格】

PRIMERGY RXシリーズ
標準価格 2,920円/台/月

最大▲80%

今回の提供価格例  
1,000台の場合

サイト価格  
約600円/台・月

- ・月額払い（一括/年額払いは対応できません）
- ・オプション製品の搭載によらず、ベースユニット単位の価格となります。
- ・価格設定はモデル単位（RX2530、TX2560、CX2550等）で設定します。
- ・1サイト内におけるPRIMERGY本体の契約台数が多いほど低単価となります。

## 対象製品/サービス内容

対象製品	サービスメニュー
PRIMERGY TX/RX/BX/CXシリーズ	定期訪問修理（1週間または2週間に1回）
PRIMERGY RXシリーズ 1way/2wayの1Uサーバ（RX1330 M2/RX2530 M2）	定期引取修理（2週間に1回）

サービス項目	サービス内容	定期訪問修理 (1週間または2週間に1回)	定期引取修理 (2週間に1回)
問題解決支援	電話/Email/SupportDesk-Webにてサービス対象製品に関する質問・相談を受け付け、電話もしくはメールにて回答します（OSサポートは本サービスの対象外です）	○	○
ハードウェア定期訪問修理	定期的に保守担当技術者を派遣し、障害対応を実施します(*1)	○	-
ハードウェア定期引取修理	修理が必要なハードウェアを定期的に物流業者が引き取りに伺い、修理作業後に、定期的にご指定の場所まで返送します(*2)	-	○
ハードウェア保守用部品送付	対象ハードウェアの障害発生時、必要に応じてお客様のご要望を確認の上、保守用部品を送付します	○	○
リモート通報機能	ハードウェア障害情報を富士通サポートセンター(OSC)へ自動通報。OSCは受信したハードウェア障害情報を解析のうえ、お客様にご連絡します	○	○
お客様専用ホームページ	お客様専用ホームページ「SupportDesk-Web」で技術情報、サービス対応履歴情報等を提供します	○	○

- (\*1) 1サイト・1修理サイクルにおける修理台数が多数となった場合、保守部品/担当保守要員のリソースが不足する可能性があるため、以下についてお客様にご協力をいただく必要があります。
- ・修理サイクルをスキップしないこと
  - ・修理サイクル内において大量の障害が発生した場合（10件/サイトが目安）、可能な限り事前にOSCにご報告頂くこと
  - ・訪問修理日にすべての修理が行えず、次の修理サイクルでの修理、または別日での修理となる可能性があることをご了承頂いていること
- (\*2) 1修理サイクルにおける引取台数が多数となった場合、保守部品/担当保守要員のリソースが不足する可能性があるため、以下についてお客様にご協力をいただく必要があります。
- ・修理サイクルをスキップしないこと
  - ・修理サイクル内において大量の障害が発生した場合、可能な限り事前にOSCにご報告頂くこと
  - ・引取日にすべての引取/返却が行えず、次の修理サイクルでの引取/返却、または別日での引取/返却となる可能性があることをご了承頂いていること

## ご留意事項

- ・同一拠点に200台以上のPRIMERGY が稼働していることが、サービス提供の前提になります。
- ・対象拠点内に稼働しているすべてのPRIMERGYに対して、有償保守契約の締結をお願いします。（保守未契約の機器があると、本サービスは提供できません。）
- ・リモート通報機能をご希望される場合の設定作業は、お客様作業になります。
- ・1週間に1度または2週間に1度の訪問修理の場合、修理日の2営業日前までに富士通に障害通知をお願いします。（通知がない場合、訪問は実施致しませんので、ご了承ください。）
- ・2週間に1度の引取修理の場合、引取日の3営業日前までに富士通に障害通知をお願いします。（通知がない場合、引取は実施致しませんので、ご了承ください。）
- ・保守技術者の作業、または物流業者による引取に際して、修理対象装置のシステムからの切り離しは、お客様作業になります。
- ・ラックからの取り外し、取り付けはお客様作業になります。
- ・引取対象装置に含まれる機密情報/個人情報の消去は、お客様作業になります。